毎月第3日曜日は「家庭の日」です。みんな楽しく親と子の対話を。今月は16日です

広報しうら

編集と発行
青森県市浦村役場
総務課
電話 相内 1,4 番

村の人口	
世帯数	1,076
総人口	5,103
男	2,535
女	2,568

(2月末日現在)

希望に胸ふくらませ

七十七人が大人の仲間入り

希望に胸ふくらませて、ことしも七十七人（男四十一人、女三十六人）の成人が誕生しました。成人式の日はあいにく吹雪に見舞われ、四十六人しか出席しませんでしたが、はなやかな訪問着に身をつつんだ女性の姿だけはいつも変らぬ風景でした。それでも「独立した立派な社会人になって下さい」という、村長からのお祝いのことばに目を輝やかせながらさすがに「二十才」の感激をかくしきれない表情でした。

20歳の意見と感想

ことしの成人式は一月十五日、相内児童館で行なわれましたが、式が終ってから七人の新成人によって「20歳の意見と感想」がのべられました。以下はその要旨です。

権利と義務を果す大人に

脇元　渡辺文昭

中学時代勉強がイヤで、早く若者になりたいと思った。しかし、いまになってみてもう一度学校で勉強してみたいという気持になることがある。二十才になったいま、これまでの自分を反省してみると、いろいろな問題をでかしていることに気がつき、本当に恥かしい気持でいっぱいである。さらに今後の自分を考えるとき、不安だらけでたまらない。

先ず、二十才という年代において一番手っ取り早いこととしては、酒、タバコが許されたということである。しかし、それは中学校時代からの好奇心で三年前からはじめていた私である。

第二に参政権を得ることができたことです。これまで青年団活動で若い人たちの政治に対する関心がうすいことが論じられて来ましたが、残念ながら私もその一人であります。出かせぎをくりかえし都会へ流れゆく若者たちには、そこに愛着も誇りも感じない。したがって政治には全く無関心で「国政」が「村政」が現実的に自分に対してどのような関係があるのかは、もちろん考えようとしない。このような政治的無関心を少しでもなくしたいと思う

あたえられた道を進む

相内　古川　徹

成人になったからといって昨日までの自分が急に別人になるわけではない。自分はあくまでも自分であるが、やはりなにかを感じないわけにはいかない。成人になると酒、たばこ、結婚の自由、参政権、納税等のさまざまな権利と義務があたえられる。

いま、若い私にあたえられた課題はなんだろうか。このありあまるエネルギーをなによって発散させたらいいのだろうか、市浦村は現在日本の名もない一寒村にすぎない出かせぎの村である。友人がみな出かせぎにいってしまうと私も都会にあこがれる一人なのでこんな村に残っていて、どうしたらよいのだろうかという疑問がうかんでくる。でもこの村において私にやれるもの、やらなければならないものがあると思う。

私は今日を契機にこれらを見つけ出し実行したい。

これは成人になった私の思うことである。私たちはいま、試練の時である。聖書に「試練を耐え忍ぶ人はさいわいである　あなたがたの会った試練で世の常でないものはない。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることがないばかりか、試練と同時にそれに耐えられるようにのがれる道も備えて下さる」とある。

私は別にのがれる道があるなんて、なまやさしい考えはもっていないが、この試練に堂々とぶつかってゆくつもりである。この試練の時にあたり、強い肉体とそれにともなう立派な精神を養ない、試練をのりきろうと思っている。

余裕のある女子青年に

脇元　山田悦子

気持の上では、別に変化はないように思いますが、私もいよいよ二十才になったんだなあと、思うとなんとなく、日常の言葉づかいと、行動に責任みたいなものを、感ずるこの頃です。私も、まがりなりにも大人の仲間入りを果すことになったのですが、いままでのエゴイストな自分から、大人の声を耳にする自分に脱皮しなければならないと思っております。

最近、テレビ、新聞をにぎわしているものに、学生運動があります。平和のために斗争する学生運動家の多くが…フーテン族といわれる 若い者 のほとんどが、信頼出来る大人に、出会っていないからだと感じられます。

私は、これらを見るにつけ、聞くにつけ先輩たちの言葉を謙虚に聞く心とその言葉の中の真実と虚偽をききわける耳をもつことが、今の私たちにもっと必要なことではないかと、思うのです。その上で自分の頭で考えぬいた発言と行動をするのが若者らしい生き方ではないでしょうか。

私たち若い者は、なんでもやれるんだ！という一方的な段階から共に、苦脳する先輩たちの、言葉に素直に耳をかたむけ、そのなす事に巾をもたせるような気持ちの大きい成人になりたいと思います。それまでになるには、幾多の難関があることはわかりますが、少なくとも、大人の声を、素直に受け入れられるだけの余裕のある女子青年になりたいと思います。

若さを失うことなく

十三　中居百代

いよいよ大人の仲間入りをする時がやって来ました成人、大人、二十才、耳にするたびごとに自分はなにをなさなければならないのだろうかと考える。いままで歩んで来た二十年をふり返って見ると人それぞれ違うでしょうが、私たちは民主主義という新しい時代に生まれて、今日まで成長して来た事は、本当にめぐまれていると思わずにはいられません。先輩の皆さんが体験して来たあの恐しい戦争や封建的な世界の不安を知らないからです。

私たちの特権である〃若さ〃について述べたいと思います。私の若さに対する考え方は、人間が本当に自由に生きるためになくてはならない事を持ち続けられるかどうかだということです。つまり、金や権力によって自由がおかされる時にそれに立ち向って真の自由をかちとる精神状態を若いというのだと解釈しています。だから、そこには二十才だから若い五十才だから老いているとはいえない。〃やりとげる力〃こそ若さだと思います。

どんな困難や矛盾があろうとも私たちは若さをつらぬかなければならないと思います。私は津軽の市浦の本当の姿を理解しさまざまな偏見とたたかうつもりです。成人となった事を契機に思いを広く、真の若さをもって少しでも郷土発展に役立ちたいと思います。私たち成人により以上のご指導をお願いいします。

責任のある行動を

相内　三浦忠雄

一番最初に感動したことは、私も大人の仲間入りができ選挙権を得たことでした。法的に個人の自由は尊重され、自由な行動が許されます。しかし、本当の自由とは何事にも他人に不幸をかけることなく、自己の判断力と責任をもっての行動であるべきだと思うのです。

現代はヤングパワーの時代だといわれています。私たち若い力なのです。それなのにこの若い力をもっとも高度の教育を受けている大学生はヘルメットをかぶり、角棒をふり、石を投げ、流血の学園戦争をおこしている。暴力でなくて話し合いで解決できないものなのだろうか。ある本で「大人たちはもう少し若者のよい面をもっとよく見、聞いてほしい」ということが書いてありました。たしかにそうだと思いました。しかし、大人たちが私たち青年に対する批判、つまり、言葉づかいが悪い、礼儀を知らない、自分の行動に責任がないなど非常にきびしいが、残念ながらこうした批判を認めざるを得ません。

とかく、非行に走っている青年は「社会がこうさせたのだ」「大人たちが悪いので」という言葉を耳にする。自分でやっている行動に責任をもつことが必要で自己弁護はやめるべきだと思う。

わが市浦村に目をうつすと、十三湖の干拓問題などさまざまなことがありますこれからの市浦村を考えると私たちもがんばらなくてはと思います。

人生はドラマである

十三　本荘ちづ子

〃人生はドラマである〃とある人がいわれたことを私は記憶しております。私のドラマは、昭和二十三年十二月六日、この日からはじまったのです。

私は父母の暖い愛情に守られながら小学校から中学校へと進みましたが、中学校三年の時、五高校へ受験して、見事〃に失敗しました。それは私の努力が足りなかったのです。そのあと、三十九年春社会人として未知の世界へ大きな夢と希望をもって歩みはじめた私でした。

通信教育を受けながらある消費組合に勤務した私はその対人関係のむずかしさみにくさ、かけひき等々目をふさぎたくなるようなことに直面し、自分は、自分こそはと力んだものでした。運がよかったのか通信教育から弘前中央高校定時制へ転学することになりました。時間的にくい違いの多い消費組合をやめて学校にも下宿にも近い公証人役場の書記をして勤めることにしました。そうして定時制課程も無事終え、さらにまた勤労学徒として岐阜の短大へと私の道は続きました。

短大生として出発した私は、自分のやりがいのある道に立って、さあ、やるぞ！という時に母の交通事故というショッキングなことがおこり、残念ながら学校を中退しなければならない立場になってしまいましたしかし、それは私の人生における試練として、さらに続くべく私の道をよりたくましく進もうと思います。

確固たる信念と実行力を

相内　佐藤多美男

昔にくらべて現在の社会は確かに住みよくなったと思うが、海外では依然としてどこかで紛争やら、政変やら、暴動が起り、国内ではますます激しくなっている学園紛争、交通戦争、政治運動、それに喜ぶべき経済成長もいろいろなひずみを生んでいます。そのほかいろいろな社会問題が渦巻き社会は変わりつつあります。それは必然的に農村にも影響があらわれています現に農村には出かせぎの問題、それと関係のある農家の兼業化、土地利用の問題米価自由化の問題などと続々と問題が起っています。まさに現在は日本経済の転換期であり、農村の転換期です。こうしたときにおいて目の前のものにだけとらわれず、広い視野から冷静に物事をみつめていくべきだと思っています。

この頃私の目にとまるのは、出かせぎによる弊害です。なかには両親とも家を出て婆さんが病気だというのに帰って来ず、子どもたちはバイクを乗りまわし、騒音をかきたて、たまには大人のまねをして酒を飲み親のいないさみしさをまぎらわしています。これを見てなにもできない自分の無力さと無情な大人たちになんともやりきれない憤りを感じています。こういう親にはなりたくないと思うと同時に、地域社会における問題をみんなで考え、およばずながら解決に力をいれるつもりです。そして、確固たる信念を持つ実行を伴なった真の意味での成人になりたいと希っております

食管制度を守りましょう

―二百五十人が参加し村民大会―

〝食管制度はわれわれの〟つ、花田県議、県農協中央もとに農業に励み、消費者手で守ろう〟と一月二十八会長、県農業会議会長（いに米について不安を与えな日、相内児童館で「食管制すれも代理）の激励のあと いためにも制度が必要だと度を守る市浦村民大会」が それぞれの立場から制度堅開かれました。持の必要性を訴えたが、生大会は相谷村長のあいさ産者が安定した生産計画の

食管堅持を誓う農民

持し、米麦の輸入を阻止しよう」「米の生産抑制、買い入れ制限反対」など六項目の大会スローガンを確認食糧自給体制の確立、東北地方の食糧基地化を骨子とした決議、全村民が一丸となって現行食糧管理制度を守るための運動を誓う宣言を大きな拍手のうちに採択しました。

なお、大会が終ってからプラカードを手に相内地区の大通りを デモ行進し気勢をあげました。

簡易水道布設の申し込みは今月の末日までに

―相内地区―

村ではいま、相内地区の簡易水道工事をすすめております。すでに本井戸もできあがり今月上旬から給水管の布設工事を行なうことになりました。

加入の申し込みは三月三十一日までですが、布設は約一万五千円かかります。工事が終わってからだと本…一万五千円の約三割ほど高くなります。

なお、この水道は利用する作さんの料金で管理、運営することをたてまえとする独立採算制ですから、料金を次のとおり定めております。

（基本料金）

一般家庭用…一ヵ月八へ立方㍍以内で四百円（超過料一立方㍍ごとに四十円）

△営業用…一ヵ月十六立方㍍以内で八百円（超過料一立方㍍ごとに五十円）注…一立方㍍は千㍑で、ドラムカンで五本に相当します

△申し込み先…役場産経課建設係まで。

日赤募金にご協力を

―目標額は十万三千円―

日赤市浦分区では、いま活動」「看護婦養成」「愛社員増強運動を実施中です の献血運動」「無医地区巡すべての人々から赤十字事 回診療」等の人道的博愛事業を理解していただき、毎 業につかわれます。

戸はもちろん、銀行、会社 ことしの目標額は「十万商店、工場等の団体法人、各 三千円」ですが、近く、各ブラカードを手に相内地区 部落ごとに配置している推も、みんな赤十字社員に加 進委員の方々が、毎戸を訪入して事業資金となる「社 問し社費納入をお願いする費」を納めていただく運動 ことになっておりますんです。

また、あつめられた「社 なにぞよろしくご協力して費」は赤十字の「災害救護 下さい。

銃や火薬類の保管を厳重に

狩猟シーズンは過ぎると、二月十五日で終わりました。シーズンが過ぎると、気分的なゆるみから銃や火薬類の処置がおろそかになり、おろそかな場所で行なうようになります。

①狩猟シーズンを過ぎると、たとえ所持許可を受けている銃でも公安委員会の指定した射撃場で射撃する場合、また有害鳥獣を駆除するために特別に許可された場合を除き、銃を使用できなくなります。銃は早目に安全な場所に保管しましょう。

②銃の点検は、屋外の安全な場所で行なうようにし、その際、銃口は常に安全な方向に向け、実弾が装てんされていないかよく確かめましょう。

③保管する場所には、簡単に出し入れのできない、人目につきにくいところで、カギのかかるところを選ぶこと。

④銃と火薬類は別に保管すること。

⑤家族、とくに子どもに対しては、銃や火薬類がいかに危険であるかを、ふだんからよく教えておき、興味本位からもてあそぶことのないよう、十分徹底しておくことが大切です。

村県民税の所得申告日程

―三月三日から十二日―

村民税の所得申告を次の日程で受けつけますから、期日までにかならずおいで下さい。所得税の確定申告書を提出した方は、個人事業税、個人住民税の申告は必要ありません。

なお、出稼き者等で所得税を源泉徴収され、確定申告書を提出した方は、税金を還付されます。

△太田地区＝三月三日、四日（太田公民館）

△十三地区＝三月五日（十三出張所）

△脇元、磯松地区＝三月六日、七日、八日（脇元出張所）

△相内、桂川地区＝三月十日、十一日、十二日（役場会議室）

右いずれも平日は午前九時から午後三時まで、土曜日は午前中。

林業座談会を開きます

―三月六日児童館で

北地方農林事務所では、林業行政と林業技術をかねて森林所有者の意見や要望などを聴取するため座談会を開くことになりましたので、関係者多数の出席をのぞんでおります。

△とき…昭和四十四年三月六日午後一時

ところ…相内児童館階上ホール

人は、三月五日までに申告して下さい。

戸籍の窓口

（一月末日届け出分）

婚姻

相沢　治（磯　松）
吉田　和子（北　海　道）
米村和はる（北　海　道）
三和の り子（相　内）
米谷　忠明（相　内）
内田　幸子（長　野）

出生

本荘和佳（十三）信逸
若山　馨（十三）久雄
白川貴士（相内）洋造
長谷川陽子（苫小牧）金五郎
相村正子（磯松）兼一
米谷健治（十三）幸治
浜田宏一郎（十三）一造
福島美鶴（脇元）幸夫
本荘聡子（十三）潔
小野寺　明（桂川）
今野マサ子（北海道）
山本　将（太田）
末継　弘子（長崎）
佐々木治（相内）
豊島　京子（十三）
野呂　稔（木造）
中山　柳子（磯松）
坂本　武光（車力）
柳谷　悦子（十三）
福島　浩（十三）
長谷川リツ（木造）
成田　松雄（脇元）
菅原　節子（大館）
柳谷　清（十三）
三戸　昭夫（板柳）
三上　妙子（脇元）
伊藤　静雄（三厩）
三上知子（十三）
工藤　真之（相内）
鈴木　フキ（中里）
奈良　光男（磯松）
和田　英子（大沢内）
中川　隆（五所川原）
角谷　和子（相内）
浦田　清則（十三）
加藤　てつ（稲垣）
小山内勝広（中里）
佐藤真理子（相内）

死亡

三浦ハル（相内）75才
秦雪子（相内）36才
成田あね（相内）80才
山田カヨ（十三）78才
佐藤セツ（相内）40才
福島美鶴（十三）0才
成田つよみ（脇元）58才

おらほの学校 ⑤

おらほの学校は後に山前には洋々たるあの広い日本海にめんした海岸にたてられています。

校舎は古くことし で九十一周年を迎えます。脇元は風が強いので風のために時々外の仮などがわれてはなれます。

校庭にある回せん塔はたて二年たったら日本海の潮風のためにさびています。

校庭に金属の物を建て同らなくなってしまいました。

今では、ぼくらの力では、どんなにがんばっても動こうともしません。

潮風にきたえて九十一年

脇元小学校六年　小田桐潔

シーソーは、どうやら動きますが、ギイーギイーと苦しそうな声を出しています。

校庭に金属の物を建てたりすると一週間くらいでさびてしまいます。

鉄棒は去年水道に使うポリエチレンのパイプにしました。

おらら、鉄棒ではなくてポリ棒です。

講堂の屋根はトタンぶきですが、ほかはまさぶきです。

このまさも風が吹くたびはとばされるので、雨がふると大変です。

なおしても、次々にともばされて穴があくので、なおしつづけないのです。

これはときどき大そうじなどをしてきたない板をみがいたりしているためだと思います。

先生もりっぱな人ばかりそろっていると、二百二名の生徒もみんないい人ばかりです。

学校が古いだけにここの学校はいい人ばかり卒業した学校です。

うちのおとうさんやおじいちゃんやおにいさんなどの出た学校です。

ぼくもみんなにまけなくたち六年生と直したこともありました。

しかし、学校は古くてもまだまだ立派でしょう。

まだ、穴のあいたところはそのままです。

それで、雨がふるとゆめだと思います。

強い風にあおられて非常口の戸がたおれたこと は、まだ、ありません。

学校が古いだけにここの学校はいい人ばかり卒業した学校です。

うちのおとうさんやおじいちゃんやおにいさんなどの出た学校です。

ぼくもみんなにまけなくたち六年生と直したこともありました。

しかし、学校は古くてもまだまだ立派でしょう。

（次回は相内小学校）

泰平一家

新入学児童を―もつ家庭へ―

新入学児童をもつ家庭では、なにかと心づかいをされていることと思いますが、入学前に次のことはぜひ心がけるようにしましょう。

△自分の身のまわりの分で始末ができるよう習慣をつけておく。

△自分の名まえは書けるようにしておく。

△学校の名まえ、両親の名まえ、自分の家の住所がはっきりいえるようにしておく。

△ひとりで安全に通学ができるよう、通学道路をよく教えておく。

△学用品の準備については、親の見栄から高価なものを求める傾向があります。

入学後、先生の指示に従って整えることが必要です。子どものためには丈夫で実用的なものを選ぶ。

△文字や数は無理に教えこむことをさけ、日常生活における身近かなことから物を通して、自然のうちに覚えるようにする。

△学校は楽しいところということ を理解させ喜んで学校に行けるようにする。

△学用品の準備については、親の見栄から高価なものを求める傾向があります。

入学後、先生の指示に従って整えることが必要です。子どものためには丈夫で実用的なものを選ぶ。

△文字や数は無理に教えこむことをさけ、日常生活における身近かなことから物を通して、自然のうちに覚えるようにしておくことが大切です。

（教育委員会）